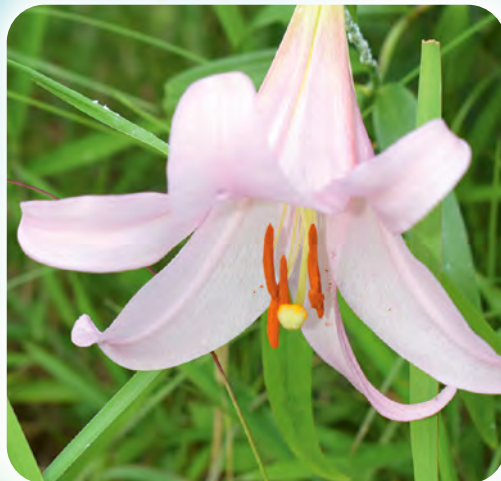


いろど や せい くさ ばな
エコパを彩る野生の草花



ショウジョウバカマ

か き はる がつ
花期：春（3～4月）



ササユリ

か き しょ か がつ
花期：初夏（6～7月）



サラシナショウマ

か き なつ あき がつ
花期：夏～秋（8～11月）



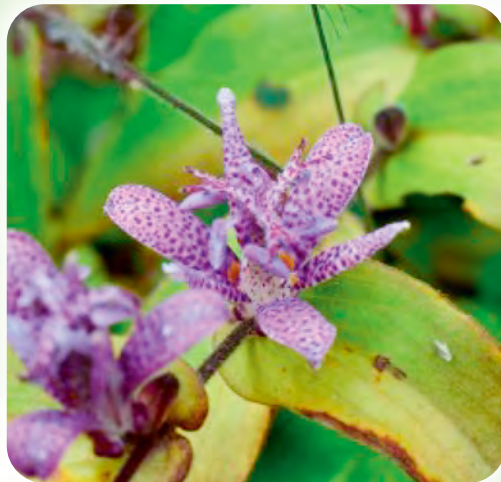
ノコンギク

か き なつ あき がつ
花期：夏～秋（8～11月）



セキヤノアキチョウジ

か き あき がつ
花期：秋（9～10月）



ホトトギス

か き あき がつ
花期：秋（9～11月）

くさ ち げんしやう さとやま くさばな かく ち すく
草地が減少して、里山のきれいな草花が各地で少なくなっています。
エコパの森でも、ササユリやセキヤノアキチョウジなどの群落が減って
いるので、保全や復元のための対策が必要です。

コラム

せ かいのうぎやう い さん しずおか ちゃくさ ばのうほう
世界農業遺産「静岡の茶草場農法」

かけがわ し ちゃばたけ ちゃくさ ばのうほう
掛川市などの茶畑では、茶草場農法と
いう伝統的な農法でお茶が育てられて
います。茶畑に敷くススキを刈り取る
ちゃばたけ し か と
茶草場では、全国的に数を減らしてい
るキキョウやカワラナデシコなどの草原
の植物が多数見られます。

そのため、貴重な野生生物を守ってい
る農業として世界農業遺産に国際連合
により認定されました。



キキョウ（環境省・静岡県で絶滅危惧Ⅱ類）

チョウ



ジャコウアゲハ

ジャコウアゲハが毒蝶である理由は、幼虫時代に食べるエサがウマノスズクサという毒草で、体内に蓄えた毒のお陰で鳥から攻撃されない。黒っぽい体に目立つ赤い斑点をつけ、ゆったりと飛び回ること、鳥たちに毒蝶であることをアピールしている。似た模様を持つチョウやガがいるのは、どうしてかな？

コラム

南国のチョウがやって来た

南国のチョウであるナガサキアゲハ、ツマグロヒョウモン、ムラサキツバメなどが、数十年の間に次々と見られるようになった。沖縄から四国などの西南日本に分布していたイシガケチョウが令和6年にはエコパの森でも採集された。初記録でうれしかったけど、喜んでいいことなの？

イシガケチョウ



ナガサキアゲハ



ツマグロヒョウモン



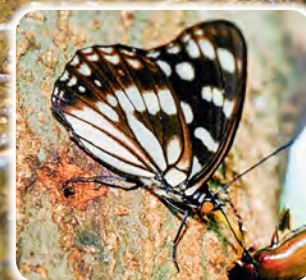
モンキチョウ



キタテハ

チョウは環境の変化に敏感な生き物なので、見つかる種類は周辺の自然環境をよく表しています。成虫は花の蜜や樹液をエサとしますが、幼虫は種毎に特定の植物の葉っぱだけを食べて育ちます。森のチョウと草原のチョウを探してみよう。

カラスアゲハ



ゴマダラチョウ

コラム

アサギマダラは旅する蝶

エコパ自然塾では毎年9月にアサギマダラのマーキングを行う。このチョウの羽は水色の部分に鱗粉がないので、ペンで日にちや場所等を記入して、空に放す。このマーキングを見つけてもらうことで移動経路が分かる。全国にこの調査に参加する人がたくさんいて、旅するチョウの秘密が分かって来た。



カブトムシ

カブトムシの幼虫は腐葉土の中で育ち、土の中でさなぎになり成虫に変身する。



コクワガタ

クワガタの幼虫はどんぐりの木やヤナギの朽ちた木の中で育つ。



タマムシ

成虫はエノキの葉っぱだけを食べる。卵は腐りかけのどんぐりの木などに産み付けられ、幼虫はおよそ3年の間、木の中で育つ。



ハンミョウ

美しい虫であるが、幼虫時代から肉食の甲虫。成虫は明るい道ではねている。

エコパの森の入口付近にはコナラやクヌギなどが大きく育っていて、いろんな甲虫が出現します。カブトムシやクワガタムシは樹液に集まり、ゾウムシの仲間はどんぐりが目当てです。この林には葉っぱをたたんだ巻物が落ちていますが、これも甲虫のしわざです。

テントウムシ

アブラムシが大好物。あかき草原が好き。



オトシブミ

地面に落とされた巻物の正体はオトシブミという甲虫の子どもの、初めての食物として、母親によって葉を折りたたんで準備されたもの。



コラム

どんぐり落としの犯人は？

9月になると、まだ青いどんぐりが枝毎落とされる事件が多発する。現場検証によると、落とされたどんぐりには共通して帽子（殻斗）の部分に刺し傷が見つかる。長期の張り込み調査で容疑者が浮かび上がった。小さな象のような虫が長い口でどんぐりに穴を開け、卵を産んでいるのが目撃されたのだ。集めたどんぐりから出てくるイモムシは犯人の子どもだった。犯人はゾウムシの仲間ハイロチョッキリ。



施設周りの自然 ④

桜と梅

エコパ建設の当時、たくさんの人から愛される名所になるようにと市民からの寄付により植えられたのが、梅と桜の並木です。桜は開花期の違う複数の種類が植えられ、ビオトープに続く川や池の周りには、美しい樹形に仕立てられたしだれ梅がたくさん並んでいます。2月の中旬からふくよかな香りと力強い樹形で、散策する人を楽しませてくれます。

2月中頃から咲くカワズザクラ



梅の剪定

花梅の剪定は春・夏・冬の年3回が基本と言われ、樹形を整えるために技術と手間がかかる。堆肥化プラントで出来た堆肥をお礼肥として与えている。

施設周りの自然 ④

しだれ梅の並木



コラム

エコパの堆肥化プラント

エコパでは森の伐開や地形改変で発生した大量の伐採木を、機械でチップ化し堆肥に変えて資源として利用している。この堆肥化プラントは県内では初めてエコパで採用され、建設時から公園の維持管理まで、大量に発生する剪定した枝や刈り草の処理を継続して行っている。

ゴミとして焼却処分する（経費もかかり地球温暖化につながる）のではなく、緑化資源として再利用する考えは静岡空港にも引き継がれた。

し せつ まわ し ぜん 施設周りの自然 ⑤ ビオトープづくり



特定の野生生物が生き続けられる環境をつくるには、木や石や木などの自然物を積み上げた生き物の隠れ家や巣の「ストック」といいます。自然屋の子どもが池や池で、生き物の種類や数を増やすエコアツプ大作戦に取り組んでいます。



おお いし つ あ お こんちゅう
大きい石を積み上げて置くだけで、昆虫や
トカゲなどの爬虫類などが集まる。草を抜い
たり、石を積み直したりすると効果が続く。



お ば たい ひ お ば
落ち葉プール・堆肥置き場

く き ぼ 朽ち木積み

クワガタムシのように朽ち木に入り
込んで育つ虫や、狭い空隙を隠れ
家として利用する昆虫類やトカゲ
類などの生き物が利用する。



ちん すい し ま し ま 沈水島・島

みず なか いしづ せま くうげき この すいせいこんちゅう あつ
水の中の石積み。狭い空隙を好むヤゴや水生昆虫が集まる。
また、一部が水面上に出ると、カメが甲羅干しに使う。



はち やど 蜂宿

たば ほそ たけづつ のきした
束ねた細い竹筒を軒下におくと、カリュウドバチやド
ロバチの仲間が青虫などのエサを運んで子育てを始
める。このハチは人を襲わない。
ふ けむし た
増えすぎる毛虫やイモムシを食べてくれる。

うき し ま 浮島

うきしま う まわ
浮島を浮かばせると、その周りに
さかな あつ
魚が集まったり、トンボが羽化した
り、鳥が子育てする場所として利用
される。

